

今後の検討方針が決まりました！

市民検討会（座長：小川栄自治会連絡協議会会長）から提案された「市民の求める乗合交通整備の優先課題」をもとに議論をしました。

今後、市民提案の実現に向けた施策について、技術的、経済的な検討に着手します。

「市民が求める乗合交通整備の優先課題」とは？

第8回市民検討会（8月23日（土））では、以下の点を確認・意見交換しました。

- ▶ 第1回策定委員会（8月5日（火））の議論
- ▶ 策定委員会と市民検討会との意見のやりとりの方法についての議論
- ▶ 市民が求める乗合交通整備の優先課題について（下記参照）

市民が求める乗合交通整備の優先課題



「JR東海道本線の北側地域」は、乗合交通を利用しにくい、またはできない地域が多いため、このような地域の解消を最優先課題とする。その際、駅や病院などの公共施設との行き来がしやすくなるよう、特に東西方向の連絡を図る。

「JR東海道本線の南側地域」は、高齢化率*が高いにも関わらずバスの運行本数が少ない地域があるため、運行本数の見直し、市立病院との行き来の確保を最優先課題とする。

* 高齢化率：65歳以上の高齢者人口が総人口に占める割合

市民提案をもとに具体的な検討に入ります！

策定委員会では、今後の方向性について意見交換し、以下の点を確認しました。

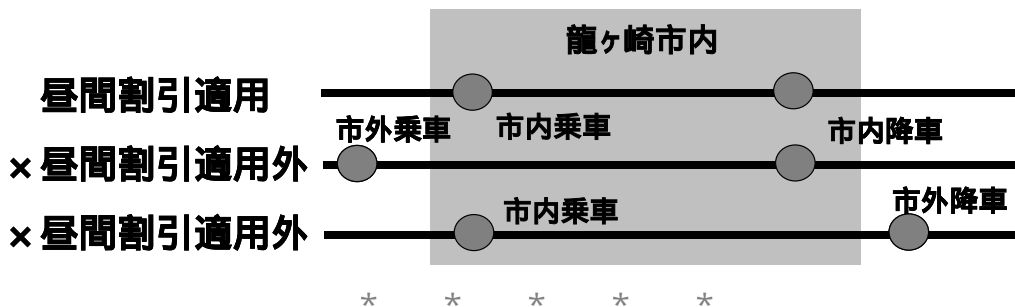
次回以降は、「市民が求める乗合交通整備の優先課題」(前頁参照)をもとに、平成14年度市民検討案を実現するための施策について、技術的・経済的側面から検討を進めます。JR東海道本線北側・南側ともに、路線網だけでなく、運行頻度、運行時間帯、運賃など、乗合交通サービスを一体的に検討します。

検討にあたっては、交通事業者(バス・タクシーなど)や交通管理者、関係行政機関とも連携して、実現性を踏まえた検討をおこなっていきます。



茨城県龍ヶ崎市の運賃昼間割引実験

茨城県龍ヶ崎市は、人口8万人弱の、茨城県南の中核都市です。ここでは、平成14年7月から、市内を走る路線バスの昼間運賃を割り引く実験をはじめました。運賃100円のコミュニティバスの運行をはじめるとあたり、最大480円かかっていた路線バスとの不公平感をなくすために、コミュニティバスの運行する昼間だけ運賃を割り引くことにしたのです。これによって、上限200円の運賃で、市内のどこへでもいけることになりました。



もちろん、龍ヶ崎市の取り組みが、そのまま茅ヶ崎市にあてはまるわけではありません。市民、行政、事業者、それぞれの知恵と力を出し合い、茅ヶ崎らしい乗合交通を考え、実現しましょう。

茅ヶ崎市都市部都市政策課

〒253-8686 神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎1丁目1番1号

TEL 0467-82-1111 (内線 2503・2504)

FAX 0467-57-8377